

「道の駅周辺整備事業」説明会 会議録

会議の名称	「道の駅周辺整備事業」説明会
開催日時	令和2年2月15日(土) 午前10時00分から午前11時00分まで
開催場所	立田南部地区防災コミュニティセンター
出席者(事務局)	山田 哲司 浅野 浩司 木村 典和 佐藤 政樹 河原 明洋
議題	—
公開／非公開	—
非公開の理由	—
傍聴人	—
会議資料	別添
会議の内容(概略)	
1. 開会 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会の主旨説明。 ・都市計画法第16条第1項に基づく説明会である旨を説明。 ・産業建設部長挨拶。 ・配布資料確認。
2. 説明 事務局	「道の駅周辺整備事業」について内容説明。
3. 質疑応答 事務局	先程の説明について、何かご意見はあるか。
参加者	工事費は、どの位を見込んでいるのか。
事務局	工事費は、用地費を除いて概算20億～25億円を見込んでいる。
参加者	集客は、どの位を見込んでいるのか。
事務局	現在の集客数は、年間約75万人であり、さらに伸ばしていきたいと考えている。
参加者	税込アップの見込みはあるのか。
事務局	海部地域で、道の駅を活かした計画は、本市にしかできない取り組みであり、税込アップに繋がる事業として捉えている。 今後は、費用対効果を分析していく予定である。
参加者	アンケート調査等により、子育て世代の方の意見を集約し、計画を進めてもらいたい。 また、広報を見れない方に対しては、SNS等も上手く活用してもらいたい。
事務局	参考とさせていただきます。
参加者	富岡神社は、なぜ計画検討区域から除外されているのか。
事務局	富岡神社は、神社庁が包括している氏神神社であるため、都市計画施設として整備する計画検討区域内には入れることはできない。 なお、周辺へのアクセス動線等は関連工事として行っていく予定である。
参加者	公園利用に訪れた子どもが富岡神社に立ち入り、怪我をされる事が想定される。 何か対策は考えているのか。
事務局	都市公園区域をフェンスにより囲う等の対策が考えられる。 富岡神社は、市が管理できる施設ではないため、地域の方々と意見交換を行いながら、検討していきたい。
参加者	県道佐屋多度線の渋滞対策については、どう考えているのか。 渋滞緩和策として、道の駅区域から南側に抜ける道路を検討してもらいたい。
事務局	今後、道路管理者、公安委員会等の関係機関と協議していく。

参加者	計画検討区域は、全て森川町であるが、幾つかの小字に分かれている事を把握し、事業を進めてもらいたい。
事務局	小字については、公図等により把握し事業を遂行していく。
参加者	排水路等の土地改良の施設については、関係者との調整をしっかりとってもらいたい。
事務局	公園整備においては、排水路の付け替え等の改修が必要となるため、土地改良施設の日常管理をされている方々と適宜調整させていただきたい。
参加者	今後の事業スケジュールについて、再度説明願う。
事務局	道の駅区域は、現在の地域振興施設を休業することなく、都市公園区域に先行して、駐車場や園路、その他施設等を整備していく。都市公園区域は、用地取得が伴うため、道の駅区域に比べて施工着手は遅れるが、スピード感をもって事業を遂行していく。本事業は、各エリアにおいて、事業スケジュールの進捗に違いはあるが、相互に連携した「道の駅周辺整備事業」という1つの事業である。
4. 閉会	